

伊万里市の特徴や誇れるもの

- ・伊万里焼で知られる焼き物の里である。
- ・江戸時代、鍋島藩の御用窯が置かれていた大川内山おおかわうちやまがあり、秘窯ひようの里として、今もなお30の窯元がある。
- ・国内有数の黒曜石原産地である腰岳遺跡群や国の天然記念物に指定された「伊万里湾カブトガニ繁殖地」がある。
- ・秋には、日本三大けんか祭りと呼ばれるトンテントン祭りが行われ、勇壮な合戦絵巻を繰り広げている。
- ・「エンゼル・マーク」を商標とする製菓会社をおこし、製菓王と呼ばれた森永太郎の出身地である。
- ・最高位を受賞した伊万里牛、西日本有数の生産量と品質を誇る伊万里梨が特産物である。



教育委員会所在地：伊万里市立花町1355番地1

連絡先：0955-23-3185

学校数：小学校 11校、中学校 5校
義務教育学校 2校



いまりんモーもちゃん

東陵学園の取組

・東陵学園の7年生は、総合的な学習の時間に、生徒たちが自ら暮らす地域に目を向け、その価値や可能性を探求することを目指して「自分たちが暮らす地域についてもっと知る」というテーマを設定し学習を行った。



- ・夏休み前から、どんなことについて調べようかと計画を練り、本やインターネットで調べたり、家族や地域の人に聞いたりして調べ学習を進めた。夏休みには現地に臨んで学びを深める生徒もいた。
- ・夏休み明け、松浦町、大川町からそれぞれ地域の方を講師として招き学びを深めた。
- ・学びの成果はそれぞれがパワーポイントにまとめ、10月31日に開催された文化発表会で寸劇も加えて発表した。

山代東小学校の取組

山代東小では、地域の方に学校サポーターとして活躍していただいている。その中でも、特に「学びのサポーター」の皆さんには、自身の経験や知識をもとに学校の様々な学びにおいて支えていただいている。

4年生の理科では、季節と生物の学習でホタルの生態や山代町の水環境について話をしていただいた。「やましろ塾」での取組を知り、子ども達には、自分たちの川や自然という意識が芽生えていた。

また、5年生の総合的な学習の時間には、防災について調べようというテーマがある。その中で地域の方に、自主避難の仕方や準備品について話をしていただいた。実際の避難道具などに触れながら、児童は地域防災の大切さについて考えを深めることができています。今後も地域の方々のお力をお借りしながら、地域のおよさや課題に気づけるように取組を続けていきたい。



青嶺中校区の取組

黒川小・波多津小・青嶺中では、3校合同による「はたらく人プロジェクト in 青嶺中校区」を行っている。小5～中3までの児童生徒が、38企業の【はたらく人プロジェクト】職業人から「働くこと」の意義を語っていただいた。

昨年度から実施しているが、今年度の中学3年生は「将来の夢や目標をもっていますか」との質問に県や全国を大きく上回る約84%の子どもたちが肯定的に回答している。

また、「将来についての視野が広がった」「日本の未来に貢献したい」等の感想をもち、働く意義を考えたり、自己の将来像を具体的に描いたりしながら進路等の自己決定のきっかけとなった。

伊万里市内や佐賀県内にこれほど多様な企業や業種があることを学ぶことができたことは、児童生徒が進路を主体的に考えるうえでの貴重な学びとなった。

地域の大人が地域の子どもの成長に寄り添い見守っていくことで、その思いが子どもたちにも引き継がれていく、そのようなプロジェクトに発展していくよう、今後も地域の力をお借りしながら、3校で力を合わせて取り組んでいきたい。

